

報道関係者各位

2019年5月22日

株式会社藤崎

株式会社オンワードホールディングス

**東日本大震災復興支援 藤崎×オンワード共同企画
環境コンセプトショップ『オンワード・リユースパーク』
期間限定ショップを6月5日(水)藤崎百貨店にオープン
収益の一部を「東日本大震災みやぎこども育英基金」へ寄付**

株式会社藤崎(本社:宮城県仙台市 代表取締役社長:藤崎 三郎助)と株式会社オンワードホールディングス(本社:東京都中央区 代表取締役社長:保元 道宣)は、東日本大震災で被災された子どもたちの支援のために、「オンワード・グリーン・キャンペーン」でお引き取りした衣料品の一部をチャリティー価格でご提供する期間限定ショップ『オンワード・リユースパーク』を、藤崎百貨店にオープンします。期間中[6月5日(水)~10日(月)]のショップ収益の一部を「東日本大震災みやぎこども育英基金」へ寄付いたします。

「オンワード・グリーン・キャンペーン」は、ご愛用いただいた自社の衣料品をお客様から引き取り、可能な限りリユース・リサイクルすることを通じて、衣料品循環システムの構築を目指す取り組みです。百貨店やショッピングセンターにご協力いただき、2009年から春と秋の年2回定期的に実施しています。2018年秋までの20シーズンで、累計約70万名のお客様から約389万点の衣料品をご提供いただきました。

お引き取りした衣料品は、リサイクルして固形燃料として活用するほか、毛布や軍手を生産し、日本赤十字社の協力のもと、国内外の被災地や開発途上国への支援に活用しています。また、まだ使用できる一部の衣料品は、東京・吉祥寺にある環境コンセプトショップ『オンワード・リユースパーク』にてチャリティー価格でご提供し、その利益のすべてを環境・社会貢献活動に役立てています。

藤崎とオンワードは、同キャンペーンを2009年秋より共同で開催しており、2019年春の実施[4月11日(木)~5月12日(日)]で12回目となりました。本年春までで、キャンペーンの趣旨にご賛同いただいた累計32,143名のお客様から183,358点の衣料品をご提供いただきました。

この度の取り組みは、東日本大震災で被災された多くの子どもたちへの支援に向けた共同企画で、昨年に引き続き2回目の開催となります。前回は多くの方々にご賛同いただき、期間中のショップ収益の一部である100万円を「東日本大震災みやぎこども育英基金」へ寄付いたしました。2回目となる今回は、6月5日(水)~10日(月)の間、藤崎一番町館3階に期間限定ショップ『オンワード・リユースパーク』を開設。過去に開催した「オンワード・グリーン・キャンペーン」でお引き取りした衣料品の中から状態の良いものを選別し、すべてクリーニングを施した婦人服、紳士服、子ども服、服飾雑貨などをチャリティー価格でご提供します。期間中のショップ収益の一部を、宮城県庁を通じて「東日本大震災みやぎこども育英基金」へ寄付いたします。

東日本大震災復興支援


FUJISAKI × **オンワード樫山 共同企画**

< 『オンワード・リユースパーク』藤崎期間限定ショップ概要 >

- 開設期間 2019年6月5日(水)～6月10日(月)
- 場 所 藤崎一番町館3階
(宮城県仙台市青葉区一番町3-4-1)
- 営業時間 午前10時～午後6時
※最終日は午後5時まで

期間中のショップ収益の一部を、
宮城県庁を通じて「東日本大震災みやぎこども育英基金」へ寄付いたします。



昨年開設した『オンワード・リユースパーク』藤崎期間限定ショップ

< 環境コンセプトショップ『オンワード・リユースパーク』 >

オンワードグループが取り組む様々な環境・社会貢献活動を生活者にダイレクトに伝える発信拠点として2014年3月、東京・吉祥寺にオープン。『23区』『組曲』『J.プレス』などオンワードブランドのリユース商品をチャリティー価格でご提供し、その利益のすべてを環境・社会貢献活動に役立てることで、衣料品の販売・回収からその出口まで自社による循環システムを構築しています。

また、お客様にエコロジーを身近に感じていただく取り組みとして、お引き取りした衣料品を活用し創作活動を楽しんでいただくワークショップの開催や、ショップ近郊で活躍するリメイクアーティスト、服飾専門学校などの協力を得てリメイク雑貨を制作し販売するなど、回収衣料品の活用方法の幅をさらに広げています。

